

# 「生徒が輝く 日本一の小規模校」を目指して 自立した社会人の育成(基盤づくり) ~ 「夢」・「努力(=やり抜く)」・「感謝」 ~



平成25年度矢板市立泉中学校だより【第21号】

## 中学「し、ずみ」

■発行/平成26年2月26(水)

### 第3回学校評議員会開催

2月4日(火)に平成25年度第3回目学校評議員会を開催し、本年度の反省と来年度の方向性について意見を伺いました。

今回は今年度最後の評議員会ということで、第2回目の学校評価後に実施した改善点の状況をメインとした「学校関係者評価」が中心となりました。全体としては改善点の実施により学校がよい方向に進んでいるという意見をいただきました。しかし、**下校時の自転車の乗り方**等改善の余地のある点をいくつか指摘していただきました。これらを参考にして、よりよき泉中を目指し、改善策の実践化を図っていきたくと考えています。評議員である大鐘貴紀様・池田公夫様・松平宣秀様・森本 忠 様・手塚英明様にはたいへん貴重な意見をいただき、誠にありがとうございました。



なお、大鐘貴紀様・池田公夫様・松平宣秀様には本年度で3年が終了します。学校評議員の任期については「3年を限度として再任することができる」という規定がありますので、この3名の方は原則として本年度が最後となります。公私ともにお忙しい中、本校発展のためにお骨折りをいただいたこと、紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。

#### \*「学校関係者評価」

教職員が自分たちの教育状況について評価したもの(これを「自己評価」といいます)をもとにしながら、外部の人に学校の教育状況の評価をしてもらうもの。本校ではこの役(正式には「学校関係者評価委員会」といいます)を学校評議員の方々をお願いしています。

### 「読書5000ページ」表彰

今年度から実施している「読書5000ページ」の表彰ですが、現在まで10人の生徒が達成しています。

泉地区小中一貫教育では、「豊かな心」を育てるために「泉読書123選」を実施しています。これは、各学年で読んでもらいたい本を「小学校各学年12冊×6年+中学校各学年17冊×3年=123冊」指定して、その推進を図るものです。本校の図書室にもこの紹介スペースがあります。

さらに、中学校では、今年度新たに読書推進策として、本を読んだページ数を積算し5000ページを超えた場合表彰する制度を設けました。現在までに10名の生徒が表彰されています。

**読書は心の栄養分**。時間を見つけていろいろな本を読んでほしいものです。また、グローバル社会は知識基盤社会。この点でも読書は必須であり、その習慣化はとて重要です。家庭での御協力をよろしく願いいたします。



### 一般選抜「1.23倍」

3月6日(木)の県立高校の一般選抜(昨年までの学力定員)の最終倍率が「1.23倍」と発表されました。

この1.23倍、昨年度が1.24倍ですのでほぼ同じ倍率です。昨年度も記しましたが、この倍率は「5人受けて、4人が合格」する計算となります。本校の受検生の中には、実力テスト等の結果からみると、合格の可能性が高い学校を受検している生徒もいれば、可能性が低い学校を受検している生徒もいます。受検は水物。安心することなく、またあきらめることなく、合格する4人に入ることを目指して、最後の最後まで粘り強く勉強してほしいものです。



## 再掲：部活動に関するお知らせ

学校だよりNo.19でお知らせした練習試合でのお弁当の件に関して、4月1日より実施になりますので確認の意味で再度掲載いたします。

練習試合で自校の指導者はもちろん、相手チーム監督等へお弁当を出すことが、平成26年度の部活動から廃止となります。

昨年の春、問題提起された練習試合におけるお弁当の件について、本校では「平成26年の夏季大会までを周知期間とし、保護者が切り替わるその後からの全面廃止」という方針を立てました。しかし、その後、市内で統一した方がよいのではないかという話があり、検討の結果、平成26年4月から矢板市内3校では全面廃止する方向に進んでいました。さらに、今年1月、塩谷地区内の学校体育関係者が相談した結果、**塩谷地区内の全ての学校が同一步調**をとることとなりました。

したがって、今年の4月1日(火)以降の練習試合に関して、自校の指導者はもちろんのこと、来校する指導者の分につきましてもお弁当を用意する必要はありませんので、お知らせいたします。

本校では、この決定を塩谷地区内には留まらず全ての練習試合に適用することにしますので、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。また、短い期間ではありますが、2月・3月を周知徹底期間とします。練習試合等があった場合、4月以降は「お弁当を出さない・もらわない」ということを相手チームの指導者や保護者に伝えていただければ幸いです。

心身の成長著しい中学時代、生徒の健全育成に部活動は必要不可欠なものです。今後とも、部活動に対する御理解と御支援をよろしくお願いいたします。



## 震度5強 生徒は学校待機

あの3.11東日本大震災から間もなく3年が過ぎようとしています。そこで、この大震災の反省をもとに**矢板市として統一された対策**のうち学校に関係するものを掲載します。これも含め、各家庭の対応の再確認をよろしくお願いいたします。

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| (1) 家族の避難場所           | * 自宅の場合の避難場所、自宅以外の避難場所 |
| (2) 電話連絡等がとれないときの連絡手段 | * 例) 特定の場所に書き置きを貼る等    |
| (3) 必要な連絡先の住所と電話番号等   | * 家族、親戚等               |
| (4) 非常食の保管場所とその日数     | *                      |

震度の強さ	学校の対応	注意事項	備考
5強以上	○生徒は <b>学校待機</b> →保護者の迎えによる下校 *自動的に市に「災害対策本部」が設置される * <b>全職員参集</b> →市からの連絡がなくても参集	○緊急連絡カードにしたがった引き渡し →引き渡しの際、カードに必要事項を記入する。	○緊急連絡カードの記載内容に変更があるとき →速やかに担任に連絡 *記載事項を忘れている場合 →早めに担任に確認
5弱	○原則、集団または個別での下校とする *市内校長・教頭連絡体制実施	○「通学路の安全点検」を実施してから下校とする ○下校時の巡回実施	○無事帰宅したことを確認する →電話の活用
4以下	○状況に応じて適切に対応する *震度4以上→施設設備等自主点検		

## 各種表彰

本校を窓口とした各種コンクール・大会結果の掲載

- ◆第67回栃木県理科研究展覧会・発表会  
 <最優秀賞> 「燃えているろうそくにコップをかぶせると」  
 2年 鈴木 京、森戸聖実、渡邊琢巳、渡邊千尋
- ◆英語検定合格者 \*2/23(日)の3級二次面接に複数名参加しています。結果が楽しみです。  
 <4級> 2年 薄井美香、加藤 光、増形由衣  
 1年 竹田綾介、増子真未  
 <5級> 2年 田代恭規  
 1年 片山怜奈、室井望亜
- ◆第65回栃木県書初中央展(県展)  
 <準大賞> 2年 渡邊千尋  
 <特賞> 2年 鈴木 京  
 <金賞> 1年 片山怜奈、増淵 栞